

会社概要

創業年月	1946(昭和21)年10月	本社	〒111-8682 東京都台東区寿四丁目1番2号 電話 03-3847-3500(代表)
設立年月日	1950(昭和25)年2月20日		
資本金	10億91万4500円	上場証券 取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場 (証券コード: 8119)
従業員数	連結617名 (2016年3月末現在)		

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。
定時株主総会 基準日	毎年6月に開催 定時株主総会 3月31日 中間配当金 9月30日 期末配当金 3月31日	公告掲載URL	http://www.sanyecorp.com/ ただし、やむを得ない事由により 電子公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載 します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)		
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株)証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株) の本店および全国各支店で行って おります。		

ホームページのご案内

<http://www.sanyecorp.com/>

スマートフォンや様々なデバイスが普及し、インターネットの利用環境が変化している状況を踏まえ、タッチ操作しやすいパネルデザインを採用し操作性を向上させました。今後も継続的に本ウェブサイトの充実を図り、ステークホルダーの皆さまに、より一層必要な情報をお届けできるよう努めて参ります。

コーポレート
ウェブサイトを
リニューアル
いたしました！



BUSINESS REPORT 2016

JAPANESE

TOP MESSAGE / ステークホルダーの皆さまへ



経営ビジョン

健康と環境をテーマに

品質の優れた生活関連用品を企画開発し

消費者の皆さまにお届けすることを通じ

快適で夢のあるライフスタイルの実現に貢献する

株式会社 三栄コーポレーション
代表取締役社長 小林 敬幸

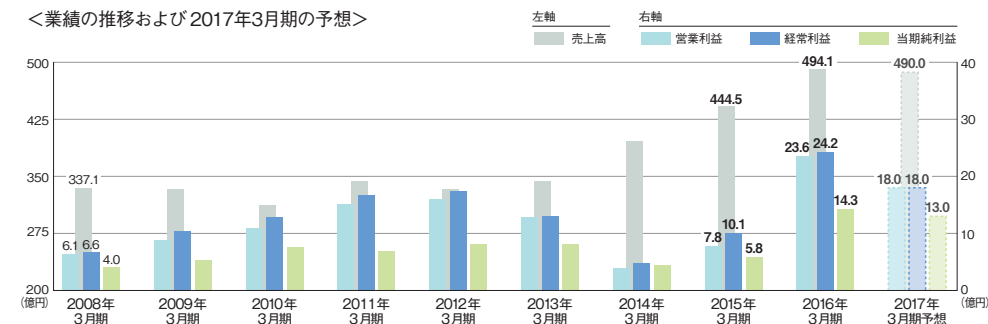
CONTENTS

1-2 TOP MESSAGE / ステークホルダーの皆さまへ	9-11 TOPICS
3-4 事業概況と見通し	12 沿革・拠点網
5-6 セグメント別事業概況と見通し	13 主要な子会社/役員一覧
7-8 当社のビジネスモデル	14 株式の状況/株式のご案内
	裏表紙 会社概要/株主メモ 他

当社は、左記の経営ビジョンに基づき、1946年の創業時から生活の現場に密接な商品を取り扱い、**おかげさまで2016年は創業から70年を迎えました**。今後も安定した成長を継続し、急速な環境の変化にも対応できる強固な経営基盤を確立しながら**100年企業を目指すため、中長期的な方針**を次のとおり掲げております。

- 早期に売上高500億円を達成させる**
商品事業の5つの組織で各100億円規模を達成させ、総売上高500億円を目指します。
- ブランド事業で安定した収益を確保し、OEM事業で更なる業容拡大を目指す**
現在の売上構成はOEM事業約75%：ブランド事業約25%ですが、ブランド事業の割合を徐々に40%程度まで高め、安定的な収益を確保し、価格競争力を強めOEM事業の伸長を狙います。
- 環境の変化に強い経営基盤を確立する**
日本や海外市場の環境変化や為替相場の変動に左右されにくい体質を築き、売上の拡大と安定した収益確保を目指すために次の内容に取り組んで参ります。
①商品開発力・価格競争力・調達力を強化することにより営業力を高めます。
②中国のみならず、東南アジアのメーカーの開拓を積極的に推進し、商品調達地の適正な分散により調達リスクの軽減を図ります。
③総売上高に占める海外取引の割合を引き上げます。

＜業績の推移および2017年3月期の予想＞



※2016年3月期より当期純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています。

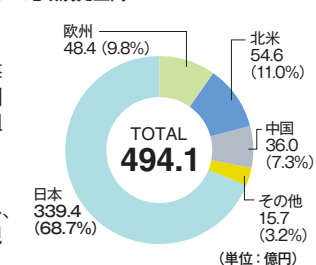
業績（事業概況と見通し）については、次ページより詳細をご説明いたしますが、2016年3月期は国内外のOEM事業、ブランド事業のいずれも好調で、おかげさまで**最高益を達成**することができました。一方、2017年3月期の売上高は、ブランド事業は伸長する見込みですが、海外OEM事業の売上高が減少するため僅かに減収を見込んでおります。また利益面においては、海外OEM事業の減収およびブランド事業では新たな取り組みへの先行投資を行い販管費が増加することもあり、減益見込みとしております。

上記の方針を進めることで中長期的に収益基盤を強化していくことはもちろん、2017年3月期については、歴代3位となる経常利益の予想値（2016年5月現在）を必達できるよう、グルーピングとなり取り組んで参ります。

なお、コーポレートガバナンス（企業統治）強化の一貫として、2016年4月に取締役会の任意の諮問機関である指名・報酬委員会を設置いたしました（詳細は11ページをご覧ください）。ガバナンス体制を一層強化することで、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、より強固な経営基盤を築くことができるよう、更なる取り組みを進めて参ります。

ステークホルダーの皆さまには、当社の戦略・方向性をご理解いただき、引き続き一層のご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

地域別売上高



事業概況と見通し

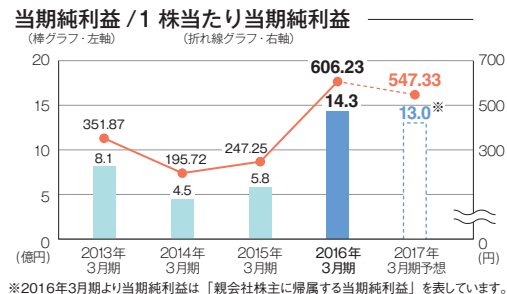
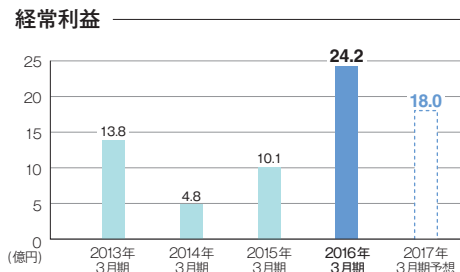
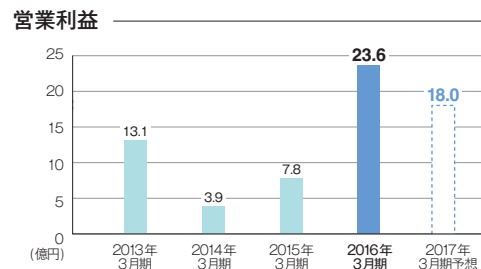
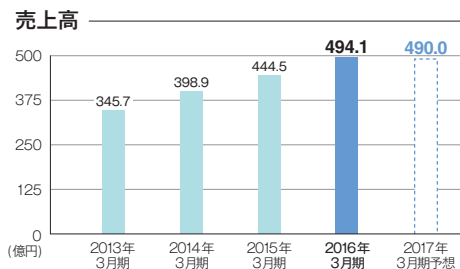
2016年3月期の実績について

2016年3月期におけるわが国経済は、当初、企業業績の回復を背景として、緩やかな景気回復傾向を辿り、雇用や所得環境にも改善が見られました。しかしながら、中国経済の急減速と資源価格低迷などの影響から、徐々に、企業の収益環境に陰りが見え始めました。また、外需面では、訪日外国人増加によるインバウンド効果が下支えとなったものの、国内の個人消費は、引き続き、力強さが欠けるものとなりました。2016年に入り円相場が円高傾向に転じたこともあり、景気の先行きには不透明感が高まっています。

こうした状況下、当連結会計年度の連結売上高につきましては、全ての報告セグメントで売上高が積み上がり、前期比11.2%増加の494億1千5百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加えて、売上総利益率が改善したことから、売上総利益は同22億7千2百万円増加の129億2千9百万円となりました。営業利益については、販管費が実額で同6億9千1百万円増加しましたが、販管費比率が同0.8%ポイント減少したことから、同15億8千1百万円増加の23億6千1百万円となりました。経常利益についても、同14億4百万円増加の24億2千3百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は同8億5千5百万円増加の14億3千5百万円となりました。

財務ハイライト

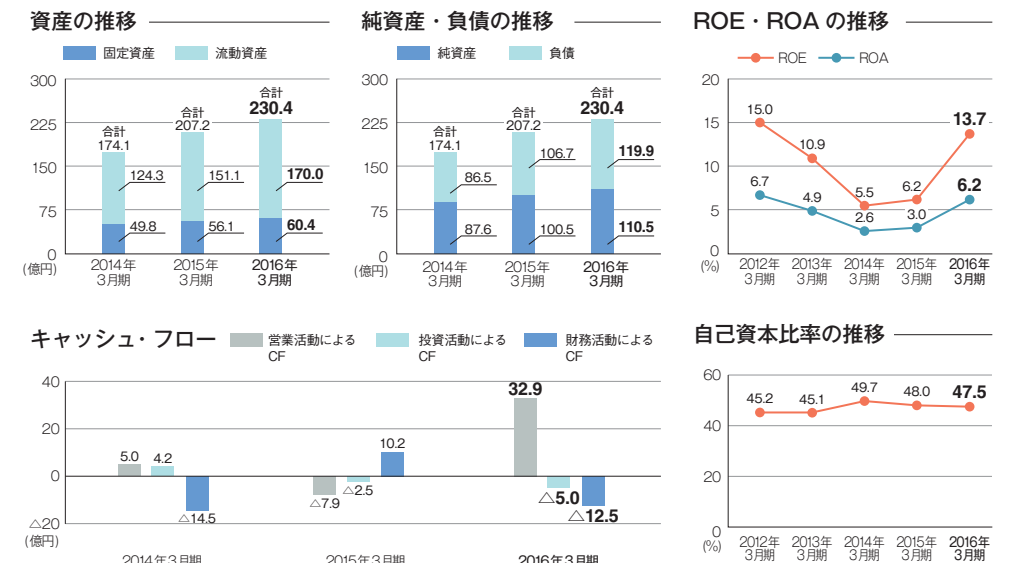


2017年3月期の見通し

2017年3月期の業績につきましては、各報告セグメントで、ブランド販売子会社が、それぞれ店舗網の拡充や新商品開発あるいは積極的な広告宣伝などにより、売上高を伸ばす見込みです。一方、各報告セグメントとも、海外向けOEM事業の売上高が減少する見込みであることから、連結売上高は前期比微減の490億円と予想しています。利益面では、ブランド販売子会社の売上高の増加や、利益率の改善努力がさらに浸透することで、売上総利益は増加する見込みですが、海外向けOEM事業の売上高減少による減益およびブランド販売子会社については、先行投資として販管費が増加することから、営業利益は20億円を下回る見込みとなっています。

2017年3月期の具体的な連結業績につきましては、売上高490億円（前期比0.8%減少）、営業利益18億円（前期比23.8%減少）、経常利益18億円（前期比25.7%減少）、親会社株主に帰属する当期純利益13億円（前期比9.4%減少）を予想しております。

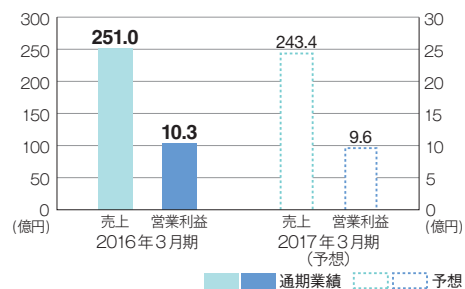
なお、通期の業績見通しの前提となる為替レートは1米ドル110円としております。



(注)セグメントの概況についてはP5・6をご覧ください。

セグメント別事業概況と見通し

家具・家庭用品事業セグメント



2016年3月期 売上 **251.0億円** (前期比+20.9億円)
営業利益 **10.3億円** (前期比 +9.1億円)

- ・OEM事業は、国内の他、北米や中国向けが好調に推移し増収
- ・ブランド事業は、家具の直販Eコマース事業開始もあり増収

2017年3月期予想 売上 **243.4億円** (前期比 △7.6億円)
営業利益 **9.6億円** (前期比 △0.7億円)

- ・OEM事業は、国内外ともに減収見込み
- ・ブランド事業は、WMFの取扱店の増加で増収見込み

<参考>取扱商材：ベッド・テーブル等の家具、鍋・食器等の家庭用品

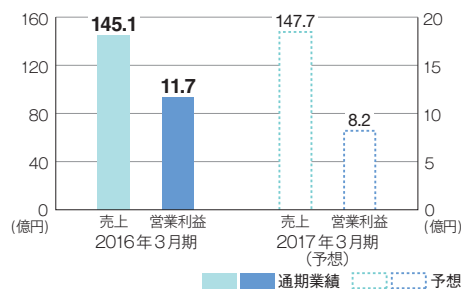


OEM例

主要ブランド

Formio® WMF

服飾雑貨事業セグメント



2016年3月期 売上 **145.1億円** (前期比+21.5億円)
営業利益 **11.7億円** (前期比 +5.5億円)

- ・OEM事業は、トラベル関連商材や欧米のアパレルブランド向けが伸長
- ・ブランド事業は、ビルケンシュトック・キプリングいずれも伸長

2017年3月期予想 売上 **147.7億円** (前期比+2.6億円)
営業利益 **8.2億円** (前期比△3.5億円)

- ・OEM事業は、海外向けが減収も、国内向けが拡大見込み
- ・ブランド事業は、ビルケンシュトックの減収をキプリングがカバーする見込み

<参考>取扱商材：スーツケース・ポーチ・バッグ・靴等の服飾雑貨

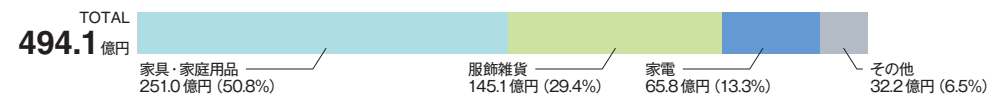


OEM例

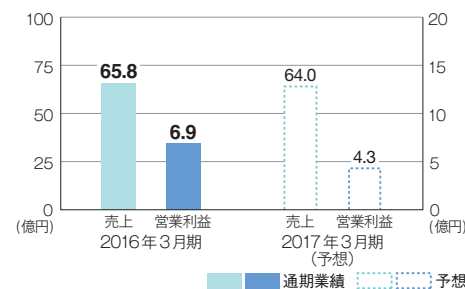
主要ブランド

BIRKENSTOCK kipling

[セグメント別売上高]



家電事業セグメント



2016年3月期 売上 **65.8億円** (前期比+11.3億円)
営業利益 **6.9億円** (前期比 +3.6億円)

- ・OEM事業は、中国向けが減少もその他の地域が増収
- ・ブランド事業は、期中の新製品投入もあり増収

2017年3月期予想 売上 **64.0億円** (前期比△1.8億円)
営業利益 **4.3億円** (前期比△2.6億円)

- ・OEM事業は、国内外ともに減収見込み
- ・ブランド事業は、新規ブランド本格始動もあり増収見込み

<参考>取扱商材：ドライヤー・ミキサー・ワッフルメーカー等の小物家電



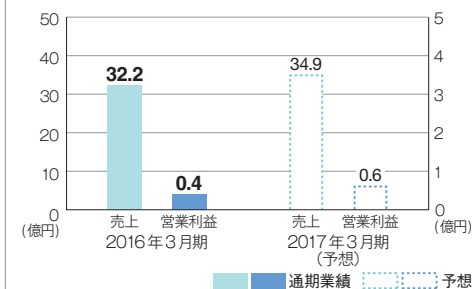
OEM例

主要ブランド

Vitantonio® mod's hair

※mod's hair/モッズヘアは、(株)三栄コーポレーションがFGAL BEAUTÉ S.A.から使用許諾を受けた商標です。
発売元:(株)mhエンタープライズ 輸入元:(株)三栄コーポレーション

その他



2016年3月期 売上 **32.2億円** (前期比△4.1億円)
営業利益 **0.4億円** (前期比 変わらず)

- ・OEM事業、ブランド事業いずれも減収

2017年3月期予想 売上 **34.9億円** (前期比+2.7億円)
営業利益 **0.6億円** (前期比+0.2億円)

- ・OEM事業は、国内向けペット用品が伸長見込み
- ・ブランド事業は、ペットビジネス小売旗艦店舗一時閉鎖のため減収見込み

<参考>取扱商材：ペット生体・ペット商材・輸送資材・工業用品(潤滑油)



OEM例

主要ブランド

ペパコーポレーション 輸送資材
ペパコーポレーション

(注) 主要ブランド詳細についてはP7・8をご覧ください。

当社のビジネスモデル

当社はOEM事業とブランド事業、2つのビジネスを展開しております

当社のOEM事業



一般的にOEM事業とは、相手先ブランド製品の製造・供給のことです。当社OEM事業では、アジアの生産地に配置している海外拠点網を活用し、製造、流通、在庫管理に至るまでのサプライチェーンマネジメントを実践。商品に合わせた製造工場の選定から、海外メーカーとの交渉、原材料の調達、生産管理・検査、輸入に至るまで、お客様のご要望をカスタマイズし、ご提供しております。

OEM事例

OEM商品の地域別取引の一部をご紹介します。

【中国・東南アジア→欧州】

【中国・東南アジア→北米】



を展開しております

TOTAL
494.1 億円

【売上高 OEM事業とブランド事業別内訳】

OEM事業	ブランド事業
369.0 億円 (74.7%)	125.1 億円 (25.3%)

当社のブランド事業

主に日本市場で展開しているブランド事業では、卸売りのみならず、小売店舗も運営しております。また、商品企画からアフターサービスに至るまでの幅広いサービスをご提供することで、付加価値を高め、収益性の高い事業を実践しています。

当社の主なブランド一覧

Formio®

日本生まれデンマーク育ちのフォルミオは、天然のブナ材を使用した「子どもとともに成長する家具」。本物の素材に触れることで、豊かな感受性・創造性を育みます。

WMF

WMFは1853年創業で今年163年を迎える、ドイツで最も伝統があるキッチン用品ブランドの1つ。美しく輝くステンレススチールとスタイリッシュなデザインが特徴です。

CHASSEUR

シャスールは、フランス製の本格高級鋳物ホーローブランド。一点一点職人の手仕上げにより、美しい発色と耐久性・機能性に優れています。

kipling

1987年にベルギーで誕生したキプリング。機能的かつ個性的な色とデザインは持つ方のライフスタイルにフィットし世界中の多くのファンを魅了し愛されています。

MULTI CHEF

マルチシェフは「THE JAPAN CREATION-日本の発想をカタチにする」をコンセプトにした業務用調理機器のブランドです。

ぱうハウス pepica

当社グループでは、ペット関連商品を販売する小売店の他、美容院、病院も運営し、お客様の大切な「ご家族」のトータルサポートを目指しています。



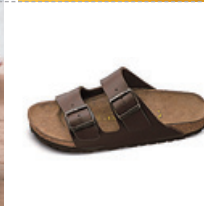
FLEXA

「子供たちに夢のある部屋を」をコンセプトに、お子様の発育・発達に合わせて、基本のベッドシステムを、多種多様なアクセサリ類と組み合わせ、子供たちがワクワクする魔法の空間を生み出します。



Silit

シリットは1920年創業のドイツの高級キッチン用品ブランド。オリジナル素材「シラルガン」の各種調理器具は、その耐久性、実用性、デザイン性で、世界の人々から高い評価を得ています。



BIRKENSTOCK

MADE IN GERMANY・TRADITION SINCE 1774

ビルケンシュトックは、240年以上の歴史をもつ独製コンフォートシューズブランド。クラフツマンシップと機能美は現代に継承され、これまで多くのモデルを発表しています。



Vitantonio®

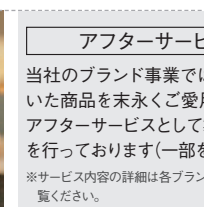
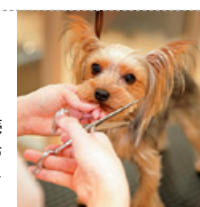
ビタントニオはシンプルなデザインと機能により、インテリアにも馴染みやすく、誰にでも使いやすいこだわりの家電製品をお届けいたします。



mod's hair

ファッショントレンドに合わせ、常に新しい感性で、コレクションを発表しているモッズ・ヘア。サロンとの共同開発による商品も発売し、サロンを意識した商品を提案しています。

※mod's hair/モッズ・ヘアは株式会社三栄コーポレーションがFGAL BEAUTÉ S.A.から使用許諾を受けた商標です。発売元：株式会社エンタープライズ 輸入元：株式会社コーポレーション



アフターサービス事業

当社のブランド事業では、ご購入いただいた商品を末永くご愛用いただくため、アフターサービスとして製品の修理事業を行っております（一部を除く）。

※サービス内容の詳細は各ブランドのホームページをご覧ください。

(株)エス・シー・テクノ

業務用調理機器MULTI CHEF(マルチシェフ)ブランドを本格始動

当社100%子会社(株)エス・シー・テクノが、「THE JAPAN CREATION-日本の発想をカタチにする」をコンセプトとする、業務用調理機器ブランドMULTI CHEF(マルチシェフ)を本格始動させました。料理人のこだわりを実現する2つの特長、モーター動力を磁力により非接触で伝達する特許出願中の技術と日本の伝統技術を搭載した「3.0Lフードプロセッサー」と「2.0Lブレンダー」を、2016年春より販売しております。

当社は30年以上に亘り業務用調理機器の開発・製造に携わってきており、その強みを活かすべく立ち上げたブランドが「マルチシェフ」です。「THE JAPAN CREATION」の文字通り、日本ならではの発想でモノづくりを追求し、今後もラインナップを拡充していく予定です。



ビルケンシュトック社名変更

当社の連結子会社である(株)ビルケンシュトックジャパンは、新たなビジネスの展開も視野に入れ、活動範囲を拡大するために2016年4月1日付けで株式会社ベネクシーに商号変更を行いました。

また、オムニチャネルを推進するため、4月1日より修理代10%OFFや送料無料等の特典のある会員サービス「FitClub(フィットクラブ)」を開始いたしました。

今後同社はビルケンシュトックと親和性のあるブランド商品の取扱いを行いながら、直営店の強みを活かしたビジネス展開を推進して参ります。



※FitClubの詳細はビルケンシュトック公式サイト
<http://www.birkenstockjpn.co.jp/service/>をご覧ください。

家電ブランドVitantonioが香港、台湾に本格進出 ～香港限定カラー商品も4月末から発売～

当社の連結子会社である(株)mhエンタープライズが展開し、「日々のいい時間を、暮らしに寄り添う道具から」をコンセプトとするデザイン家電ブランド「Vitantonio(ビタントニオ)」は香港、台湾に進出し、今年から海外展開を本格的に開始いたしました。台湾では製菓グッズとともにEコマースで展開しており、香港では量販店や百貨店のほかキャセイパシフィック航空や香港ドラゴン航空の機内誌にも掲載されています。

両エリアは、富裕層の拡大とともに、食材選びなど健康的な食生活を志向する層も増えており、ビタントニオのコンセプトがこれらの層に受け入れられています。今後もビタントニオブランドは、富裕層の拡大が見込まれる国を視野に入れて、海外展開を推進していく予定です。



WMFも直営店が増えています～ビレロイ&ボッホとの共同出店も～

ヴェーエムエフ ジャパン コンシューマーズ(株)は、今春直営店を2店舗オープンいたしました。

1つ目は、東京都町田市の南町田駅前にあるアウトレットモール「グランベリーモール」。同社にとって初の試みである他ブランドとの共同出店を、ドイツの高級テーブルウェアブランド「ビレロイ&ボッホ」と行っており

ます。2つ目は、大阪駅直結の「グランフロント大阪」に国内初の直営コンセプトショップをオープンいたしました。利便性の良さから、新たなファンの発掘を目指しています。

両店の近くへお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。



国内初のコンセプトショップ、
グランフロント大阪店内

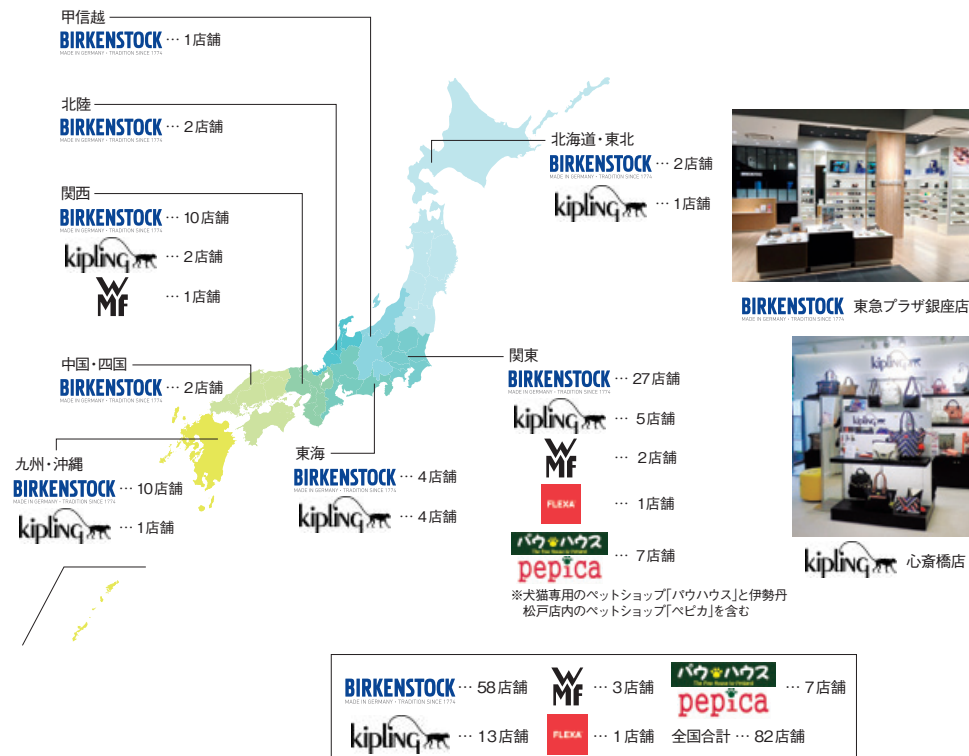
WMFアウトレットショップ南町田 グランベリーモール

営業時間 10:00～20:00
〒194-8509 東京都町田市鶴間3-4-1
グランベリーモールD-1棟 207号(BERRY 4th ST.)

WMFショップ グランフロント大阪

営業時間 10:00～21:00
〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町4-20
グランフロント大阪南館地下1階

グループ直営店が80店舗を超えました(2016年4月末現在)



BIRKENSTOCK 東急プラザ銀座店



kipling 心斎橋店

ガバナンス体制の強化

2016年4月から指名・報酬委員会を設置いたしました

当社は、4月からコーポレート・ガバナンス体制の更なる充実を図るため、取締役会の任意の諮問機関として、指名・報酬委員会を設置いたしました。社外取締役2名も委員として参加することで、社外取締役の知見および助言を活かすとともに、取締役の指名と報酬に関する決定プロセスの透明性および客観性の確保を図って参ります。

当社が40年来に亘り支援を続けている

NPO法人日本多発性硬化症協会(日本MS協会)のご案内

多発性硬化症(MS=MULTIPLE SCLEROSIS)とは、中枢神経系の脱髄疾患の1つで、脊髄等の障害により手足のしびれや運動麻痺などが起こる病気です。

日本MS協会は、ロンドンが本部の「多発性硬化症世界連合」のメンバーとして、病気に関する調査研究費の助成、講演会・相談会の開催、メディアへのPR等の活動を行っています。

当社創業者である故和泉國夫氏が日本MS協会発起人の1人であったことから、設立時より協会事務局を当社内に設置し、今年で40年目を迎えます。当社社員も同協会に様々な形でボランティアとして活動しており、多発性硬化症の早期撲滅に向けて、今後も社員とともに同協会の活動を支援して参ります。

■ 日本MS協会より：多発性硬化症の撲滅を目指し、市民公開講演会や啓発活動を行っています。

活動のご紹介

■ 第5回市民公開講演会を開催

2016年3月、東京都江東区住吉「ティアラこうとう」にて第5回市民公開講演会と親睦交流会を開催しました。

神経内科(多発性硬化症)専門医の先生による基調講演や、医学研究助成を受賞した若手医師による最先端の研究発表等が行われ、MS患者、そのご家族、MSに関心ある一般の皆さま方総勢約100名が熱心に耳を傾けていました。

さらに、特別講演として、多発性硬化症を発症されている落語家の林家こん平師匠を父に持つ(株)EMIプランニング代表取締役社長の笠井咲様が『父と私の奮闘記』を熱く語ってくれました。林家こん平師匠は、マイクを片手に元気にご挨拶をされ、会場は和やかな雰囲気となりました。

■ 啓蒙活動～世界MSデー～

MSの認知度を向上させることを目的に2009年からスタートした「世界MSデー」(World MS Day)。毎年この日には世界60カ国以上のMS協会が様々なイベントを行っています。日本では、5月に東京都内でチラシ等の配布を行い、周知活動を行いました。

現在MS患者が増えている日本において、今後もMSの周知と撲滅のために日本MS協会は様々な活動を行って参ります。皆さまのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 日本多発性硬化症協会 事務局 中島 荘次



(株)EMIプランニング
代表取締役社長 笠井咲様



林家こん平師匠

日本多発性硬化症協会(日本MS協会)へご賛同いただける方のご支援をお待ちしています。

特定非営利活動法人 日本多発性硬化症協会 〒111-0042 東京都台東区寿四丁目1番2号 TEL: 03-3847-3561
事務局 中島 荘次 E-mail: jmss@sanyecorp.co.jp http://www.jmss-s.jp

沿革／拠点網

1946年
～
1950年代

創成期 戦後の復興期に雑貨の輸出商社として創業

戦後間もない1946年、大阪でアクセサリーの欧米向け輸出を主業とする共栄商會を創業。名古屋では陶磁器、東京ではギフト製品等、それぞれ地域に根付いた商品を扱っていた2社と1961年に合併して三栄貿易(株)を設立(1971年に(株)三栄コーポレーションに改称)。

1950年代
～
1970年代

海外に次々と拠点ネットワークを構築

1950年代に入り香港を中心にアジアで軽工業が興隆し始め、輸出拠点がいずれアジアに移ることを予見。アジアへのネットワークの拡大を行うとともに、自らメーカーへの進出も行うことで生産ノウハウの蓄積を行い「ものづくり」に強い商社の基盤を構築。また、欧米への輸出を伸張させ、北米では当時世界最大級の小売業であったウォルマース、J Cペニー、シアーズ、Kマート、欧州でも英・独のウールワース、独百貨店のホルテン等が当時の主要顧客。

対日輸入ビジネスの拡大

創業以降主力業務であった欧米向け輸出が、1985年のブラザ合意による急激な円高を契機として、日本拠点においては主業を輸入に転換、海外拠点は対日輸出を増加。また、OEMビジネスで培ったノウハウを集結し、日本市場でのブランドビジネスを次々に展開。1983年にはBIRKENSTOCK(ビルケンシュトック)の総輸入代理店となり、その後オリジナルブランドのFormio(フォルミオ)、Vitantonio(ビタントニオ)を誕生させ、2007年にはmod's hair(モッズ・ヘア)のヘアケア機器の取扱を開始。

1980年代
～
2000年代

2010年代
～
現在

専門性とブランド事業の強化

2012年、専門性を高めるために、商品カテゴリー別に組織した4事業部制を確立。またブランド事業強化の一環として、2011年にWMF(ヴェーエムエフ)、2013年にKipling(キプリング)、Silit(シリット)がグループ傘下に加わり、2015年にはMULTI CHEF(マルチシェフ)ブランドを本格始動させ、ブランド強化に努める。



主要な子会社 / 役員一覧

主 要 な 子 会 社 （2016年6月29日 現在）

海外子会社		国内子会社
TRIACE LIMITED	香港他8拠点	(株)ベネクシー(旧:(株)ビルケンシュトックジャパン)
三發電器製造廠有限公司	香港	(株)mhエンタープライズ
三發電器製品(東莞)有限公司	東莞	(株)L&Sコーポレーション
三栄貿易(深圳)有限公司	深圳、東莞	ヴェーエムエフ ジャパン コンシューマーズグッズ(株)
三暉国際貿易(上海)有限公司	上海	(株)ベットランド (株)リリーベット
SANYEI CORPORATION (MALAYSIA) SDN.BHD.	クアラルンプール	(株)サムコ
SANYEI (DEUTSCHLAND) G.m.b.H	デュッセルドルフ	(株)エス・シー・テクノ
		三栄興産(株)

役 員 一 覧 （2016年6月29日 現在）

当社グループにおける主な担当			当社グループにおける主な担当		
代表取締役社長	小林 敬幸		取締役	佐久間 幹博	家電事業部長
常務取締役	村瀬 司	営業本部長 兼 家庭用品事業部長	取締役	田山 敬一	関連事業本部長 兼 社長室長
常務取締役	清水 誠二	管理本部長 兼 チーフコンプライアンスオフィサー	取締役	樋口 功	監査等委員
取締役	柴田 涉	(株)ベネクシー 代表取締役社長	[社外] 取締役	今井 靖容	監査等委員
取締役	佐野 雅彦	服飾雑貨事業部長	[社外] 取締役	水上 洋	監査等委員



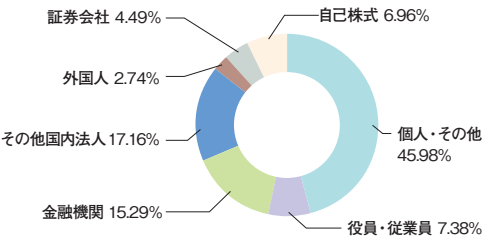
上段左より、
田山、佐野、柴田、佐久間、樋口
下段左より、
今井、村瀬、小林、清水、水上

株式の状況 / 株式のご案内

株 式 の 状 況 （2016年3月末 現在）

発行可能株式総数	普通株式	8,800,000株
発行済株式の総数	普通株式	2,552,946株 (自己株式177,797株を含む)
単元株式数		100株
株主数		2,472名

株 式 数 に お け る 構 成 比



大 株 主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
三栄コーポレーション取引先持株会	116	4.56
(株)三菱東京UFJ銀行	114	4.47
東銀リース(株)	111	4.37
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	77	3.02
SMBCフレンド証券(株)	75	2.95
水谷 裕之	66	2.61
(株)三井住友銀行	63	2.47
三栄グループ従業員持株会	52	2.08
綜通(株)	49	1.94
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	49	1.93

(注) 1. 持株比率は自己株式を含めて算出しております。
2. 当社では自己株式を177,797株保有しております。

当 社 の 株 主 様 に な っ て い た だ く と

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援、ご愛顧に感謝するとともに、当社の事業内容をより一層ご理解いただく機会をご提供すること、また、投資対象としての当社株式の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として次の施策を行っております。

1. 配当金を年2回お受取りいただけます 基準日:9月末、3月末

当社は2013年3月期より中間配当を導入し、現在年2回の配当を実施しております。尚、当社では、配当性向30%を目安に、安定的かつ継続的に配当を行うことを方針としております。

2. 株主優待で当社グループ選りすぐりの商品をお受取りいただけます 基準日:3月末※

当社は、当社グループが取扱うブランドにより親しんでいただくことを目的として、所有株式数と保有年数に応じて取扱ブランドから厳選した商品をお選びいただける株主優待制度を実施しております。(3年以上長期保有いただいた株主様には、同じ所有株数でも高額商品をお選びいただける特典があります)
※2016年から株主優待の基準日を3月末に変更いたしました。

2016年の
株主優待 商品例

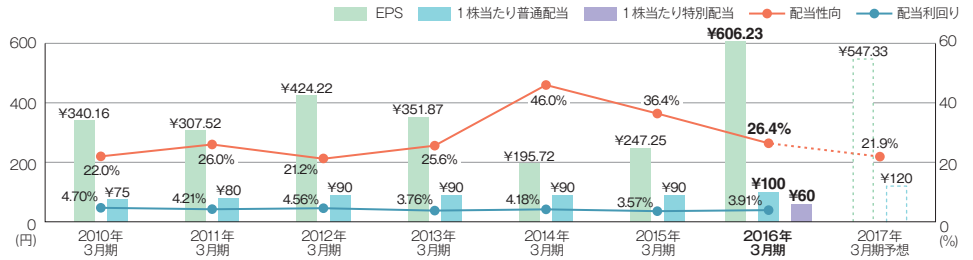


BIRKENSTOCK
MADE IN GERMANY • TRADITION SINCE 1774
(ビルケンシュトック)
アリゾナ



mod hair
(モッズ・ヘア)
マイナスイオンヘアードライヤー

EPS・配当金・配当性向・配当利回り



※2013年10月1日付で、普通株式5株につき1株の株式併合と単元株式数の引き下げを行っております。比較の為、EPS・1株当たり配当金は株式併合を考慮した金額を記載しております。